

地域計画の取組状況（10月末時点）

遊休農地をそば栽培で再生し、原風景と特産品を生かして町の活性化に貢献する				香川県まんのう町琴南地区	
農業を担う者数 (うち担い手)	186経営体 (6経営体)	農地面積 (うち農振農用地)	581.3ha (337ha)	主な農畜産物	水稻
農業地域類型	山間農業地域	遊休農地	244.3ha	現状の集積率 (目標)	5% (40%)

地域の現状と課題	将来の地域農業の方向性
・琴南地区は52農業集落からなる。 ・中山間地域であり、人口が減少傾向にあり、農業者の減少や耕作不適地により遊休農地の増加が懸念されており、地域住民を交え地域全体で農地の活用について検討が必要と感じている。 ・特に川東地区では島ヶ峰を中心にそばの生産に取り組み、遊休農地の解消につなげている。	・地域内外から農業の担い手を確保するとともに、持続的に農地が利用できるよう農地の保全管理や粗放的管理を行っていく。 ・後継者や新規就農者を確保・育成しつつ、農業の担い手への農地の集積・集約化が図れるよう条件整備に取り組みながら地域と担い手が一体となって農地が利用できる体制の構築を図る。 ・水稻のブランド化やそばの生産拡大、飼料作物等の新規作物の導入を目指す。



協議を進める過程で発生した課題	取組経緯(課題への対応)及び今後の予定
人口が減少する中、農地を守るために地域全体でどのように対応していくか検討していくことが必要である。 ①農地を維持し、担い手への集積・集約と農地を活用していく者への貸借をスムーズに進めるための取組体制。 ②地域全体で農地を守るために兼業農家への支援。 ③農地の保全管理と粗放的管理の進め方。	・地域計画の策定や目標地図の作成については、農業委員会が主体となり、町や香川県農地機構と一体となって地域全体の課題として理解してもらえるよう座談会を繰り返し、住民の意向を把握している。(①対応) ・座談会において、兼業農家への支援として多様な農業人材経営計画認定制度及び認定者を含め、希望する農地70a未満の耕作者についても地域計画及び目標地図に記載する旨を説明し、地域の了解を得た。(②対応) ・農地最適利用実現モデル事業を活用して草刈機を導入し、まんのうそば生産振興会と一体となり、遊休農地の再生に取り組んでいる(③対応) 【今後の予定】 ・令和6年12月までに地域計画案を作成する。 ・まんのうそば生産振興会とともに島ヶ峰そばの棚田の復旧・維持を行い、原風景と特産品である島ヶ峰そばを活用した地域づくりを推進する。



琴南地区座談会



棚田の復旧



島ヶ峰そばの収穫